



次世代パワーエレクトロニクス

どこでもパワエレ機器で豊かな省エネ社会

内閣府 政策参与

大森 達夫



総合科学技術会議
COUNCIL FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY POLICY

背景・国内外の状況(1/2)

社会的な必要性

- パワーエレクトロニクス(パワエレ)は、半導体を用いて電圧や電流、周波数を自在に制御する技術
- 鉄道、自動車、産業機器や家電など生活に身近な様々なところに適用され、省エネを支えるキーテクノロジー
- 今後も、太陽光発電等の再生可能エネルギーの更なる普及や発電効率の向上、産業機器や家電、次世代自動車などの一層の省エネ化には必要不可欠
- 適用される用途や省エネ効果の拡大のためには、パワエレに関連する技術の高度化は社会的な課題



第114回総合科学技術会議 資料5

